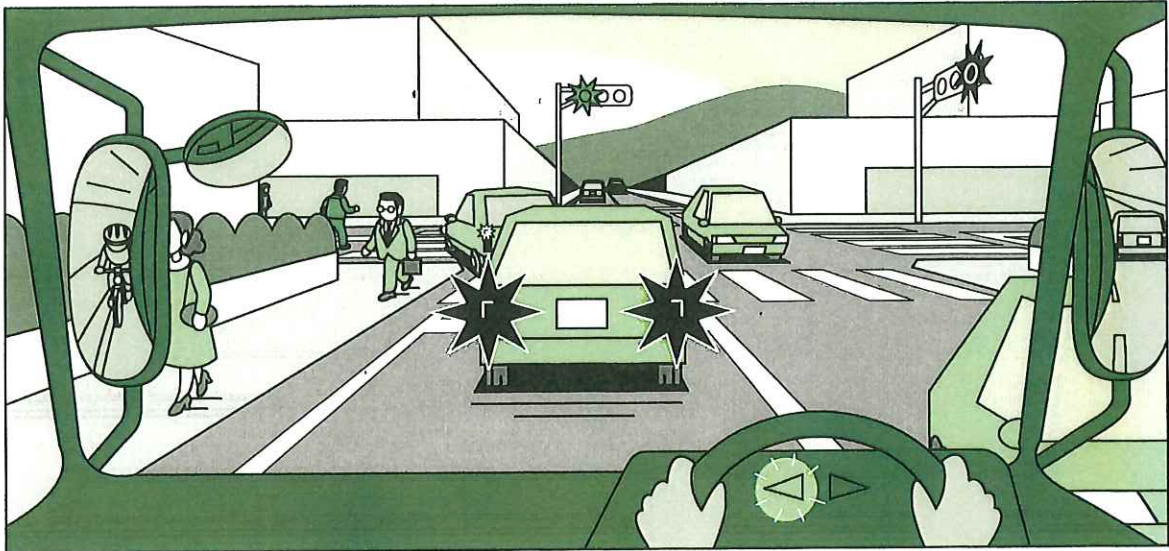


危険予知訓練 (KYT) シート：交通事故防止編 あなたならどうしますか？

〔第 172 回〕「前車に続いての左折」

状況

あなたは年末で混雑している信号交差点にさしかかり、前車に追従して左折しようとしています。また、自車の左後方には自転車が行っています。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう



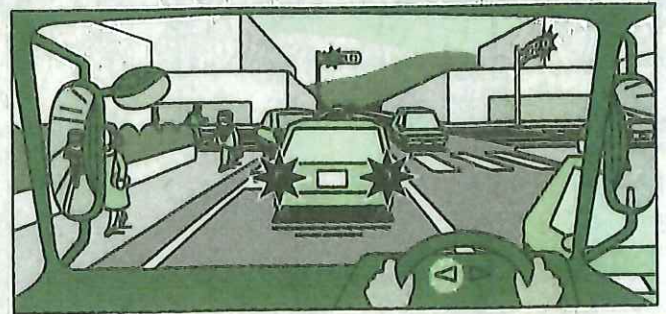
◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

危険予知訓練(KYT)シートの解説

▶ 交通事故防止編

あなたは年末で混雑している信号交差点にさしかかり、前車に追従して左折しようとしています。また、自車の左後方には自転車が走行しています。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



どのような危険がありますか？

- ① 前々車の急減速(急停止)で急ブレーキをかけた前車に追突する危険があります(図1)。
- ② 左折する際、左後方から進行してきた自転車を巻き込む危険があります(図2)。
- ③ 道路を横断してきた歩行者と衝突する危険があります(図3)。

どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

- ① 前々車、前車と自車が左折しようとしており、自車からは左折先の様子が見えません。前々車の前方で歩行者等の飛出しがあった場合、前々車の急停止・急減速に伴い、前車も急停止することが考えられます。漫然と運転して車間距離を詰めて走行していると、前車の急停止・急減速に対応できず衝突する危険があります。前々車がいる場合は、前車だけでなく、前々車の動きにもしっかり気を配ることを徹底しましょう。また、追従する時は、前車の急停止・急減速に備えて、あらかじめ十分な車間距離をとっておきましょう。
- ② 左後方から自転車が接近していることから、巻き込み事故に注意する必要があります。自転車は特に見落としやすいので十分注意してください。左折する前には、必ずミラーと目視での安全確認を徹底しましょう。また、安全確認の妨げにならないよう、助手席側のドアの安全窓付近には荷物を置かないでください。
- ③ 年末は車両だけでなく、歩行者も先を急ぎがちになります。さらに、歩行者としては「トラックだから止まってくれるだろう」と都合よく考え、トラックが接近していても道路を横断してくることがあります。この場面のように歩行者の往来の多い場所では、常に歩行者の横断を予測して、いつでも止まれるスピードでの運転を心がけましょ

図1

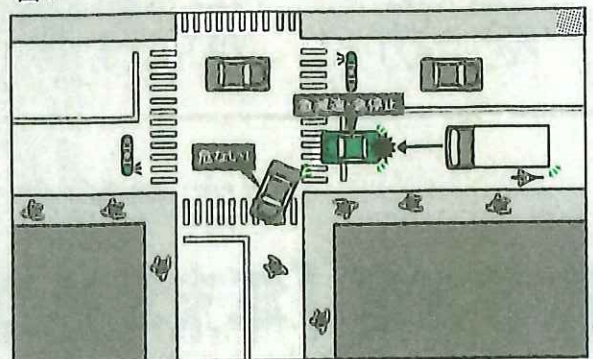


図2

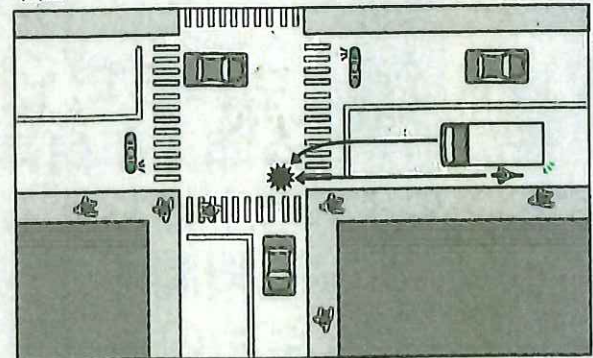
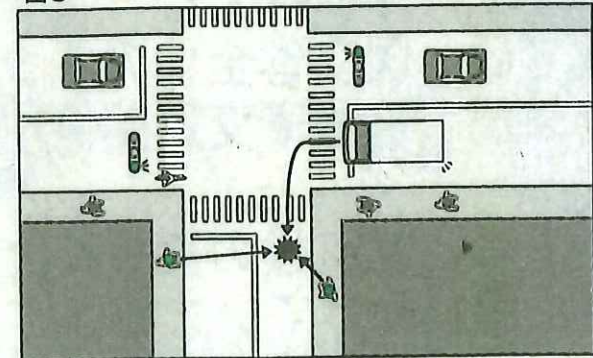


図3



う。横断歩道外でも油断せず、横断してきそうな歩行者がいる場合は、一時停止して歩行者の横断を優先しましょう。歩行者の安全を守ること、プロのドライバーとして重要な業務のひとつです。